

受付番号： 2016-1-754

課題名： 唾液腺腫瘍診断におけるダイナミック MRI の有用性の検討

1. 研究の対象

1999 年 1 月から 2016 年 12 月までに東北大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科で診断・治療を行った唾液腺腫瘍の方

2. 研究目的・方法

唾液腺腫瘍における治療前診断は、CT, MRI などの形態学的画像診断や穿刺吸引細胞診などの病理診断にて行われますが、治療前正診率は決して満足の行くものではありません。その一方で、その治療法は良悪性または個々の組織型により大きく異なっており、いかにして治療前正診率を向上させるかは大きな問題となっています。近年、ダイナミック MRI (造影剤の経時的な変化をグラフで評価) が唾液腺腫瘍の診断に有用であるとする報告が散見され、当院においても通常診療の一環として、唾液腺腫瘍に対し、ダイナミック MRI を施行していることから、これら唾液腺腫瘍疾患を総合的に検討し、唾液腺腫瘍診断におけるダイナミック MRI の有用性を検討し、将来の診断技術の向上に役立てようとするものです。

方法として、1999 年から 2016 年 12 月までに東北大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科で診断・治療を行った唾液腺腫瘍症例に対し、性別、年齢、病理組織、治療法、治療後の再発の有無および画像所見を比較検討し、ダイナミック MRI の有用性の評価と今後の治療指針に関する提言を行います。

研究期間： 2017 年 02 月 ～ 西暦 2021 年 12 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、手術または生検で採取された病理組織、治療法、治療後の再発の有無および画像所見等

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

該当なし

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

東北大学病院

耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師 小川 武則

仙台市青葉区星陵町1-1

022-717-7304

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合